



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 協立電機株式会社
コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画副室長
四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日

(氏名) 西 雅寛
(氏名) 江口 和之

TEL 054-288-8888

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	22,056	4.2	788	31.3	965	40.2	606	32.2
26年6月期第3四半期	21,159	2.1	600	△14.7	688	△27.7	458	△22.3

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 690百万円 (22.4%) 26年6月期第3四半期 564百万円 (△31.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	152.66	—
26年6月期第3四半期	116.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第3四半期	22,757	8,476	35.7
26年6月期	19,840	7,776	37.7

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 8,134百万円 26年6月期 7,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	32.50	32.50
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	6.2	900	35.0	1,000	33.0	500	5.5	125.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期3Q	4,369,200 株	26年6月期	4,369,200 株
27年6月期3Q	375,276 株	26年6月期	463,056 株
27年6月期3Q	3,972,111 株	26年6月期3Q	3,934,820 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、出足は消費を始め全般的に回復が緩やかでしたが、足元の状況は業種、地域により差はあるものの円安等による輸出型製造業の業績伸張が鮮明となる一方、所得環境の改善等から回復が遅れていた消費にも明るさが出てきていること等、景気の拡大が実感できる状況で推移しました。

当社グループとしましては、斯様なビジネス環境下において、中国、東南アジアを中心とした海外ネットワークの利点を活かし、我が国製造業の海外への拠点移転により発生する新たな設備投資需要を取り込む努力を続けてまいりましたが、近年、東南アジアの拠点を拡大・強化を続けた結果として、進出国での取引深耕が進むとともに客先製造業のグローバル展開に対する全面的な関係を構築し、日本を含む他の進出国への取引にもビジネスを展開した形でグローバルな関係を構築しつつあります。また国内においても新製品が牽引役となり好調に推移した結果、前年同四半期と比較し、増収・増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は220億56百万円（前年同四半期比4.2%の増）となり、損益面としましては、営業利益が7億88百万円（同31.3%の増）、経常利益が9億65百万円（同40.2%の増）、四半期純利益が6億6百万円（同32.2%の増）となり、売上高と四半期純利益は第3四半期時点で過去最高となりました。

なお、当社のセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、輸送機や電機等の業種で国内外とも旺盛な設備投資意欲が見られたこと、公共事業に係る設備投資が引き続き好調なこと等によりシステムビジネスが拡大し採算も改善したため、セグメント全体で増収・増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は78億33百万円（前年同四半期比6.1%の増）、営業利益は3億96百万円（同93.8%の増）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間においては設備投資の増加傾向に加え、科学分析機器や省力化のためのロボット等のビジネスが順調に拡大したため、増収・増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は141億74百万円（前年同四半期比3.3%の増）、営業利益は6億31百万円（同4.2%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は227億57百万円で、前連結会計年度末に比べ29億16百万円の増加となりました。これは主として取引伸張により受取手形及び売掛金が13億84百万円増加したこと、当第3四半期末直近に大口入金があったことにより現金及び預金が5億63百万円増加したこと、静岡市駿河区での土地取得等により有形固定資産が2億70百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が142億80百万円で、前連結会計年度末に比べ22億16百万円の増加となりました。これは主として運転資金の増大等により長短借入金が19億75百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が84億76百万円で前連結会計年度末に比べ6億99百万円の増加となりました。これは主として四半期純利益が6億6百万円あったこと、自己株式処分によりその残高が1億7百万円減少したこと等による増加が配当を1億28百万円実施したことによる減少を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現下の世界主要国の経済情勢は、ギリシャ問題等で不安定要素を抱える欧州も含め、米国、中国、ASEAN諸国等主要国・地域で減速傾向を示しながらも拡大基調を続けており、原材料価格低迷の影響を受けている一部資源国を除き、全般として世界経済は安定した成長軌道を今後も辿るものと予想しております。

一方足元の我が国経済は、公共部門が高水準の投資を続けているのに加え、民間セクターでも引続き海外投資を積極的に拡大する企業が多い傍ら、ドル高円安等による輸出採算の改善や内需拡大への期待等から国内でも投資を増やす企業が増大しており、これらの傾向は当分継続していくものと予想されます。

斯様な環境下、当社グループは海外での工場新設・増設等から発生する新規需要を当社グループの海外子会社ネットワークをフルに活かして積極的に取り込んできましたが、近年拠点を開設したベトナム、インドネシアや昨年9月に営業開始したフィリピンの拠点も順調に推移しており、これら拠点網の充実により、複数の国に製造拠点を展開しているグローバル企業に対する当社グループの取引関係が複数の国に及ぶ、地理的に広範囲なものとなっております。このようなグローバル展開の強化、深化が今後もさらに一段と強まるものと考えております。

国内においても省エネ・省電力が社会の大きな流れであることから、時流に乗った自社製品の開発を心掛けており、加えてクラウドサービスとインターネット回線で繋ぐことにより遠隔地の情報が画像または計測データという形でユーザーに提供でき、当社で初めてB to C ビジネスにも展開できる「KDLinX」や最新鋭の画像処理を駆使した半導体基板検査装置も順調に販売を拡大しております。

以上により、平成27年6月期の通期業績予想につきましては、平成26年8月8日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては、従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	898,794	1,461,947
受取手形及び売掛金	9,335,019	10,719,263
有価証券	482,266	443,565
商品及び製品	311,247	509,381
仕掛品	434,691	451,841
原材料	601,955	666,227
その他	389,377	601,636
貸倒引当金	△55,858	△29,438
流動資産合計	12,397,494	14,824,427
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,459,184	4,705,329
その他(純額)	927,964	952,364
有形固定資産合計	5,387,149	5,657,693
無形固定資産		
無形固定資産	102,333	106,516
投資その他の資産		
投資有価証券	1,372,796	1,533,033
その他	665,865	696,322
貸倒引当金	△84,731	△60,706
投資その他の資産合計	1,953,930	2,168,649
固定資産合計	7,443,413	7,932,860
資産合計	19,840,907	22,757,287
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,522,734	7,423,992
短期借入金	3,000,000	3,900,000
1年内返済予定の長期借入金	28,280	22,988
未払法人税等	159,222	294,297
賞与引当金	112,045	248,901
役員賞与引当金	29,100	-
その他	520,716	602,598
流動負債合計	11,372,098	12,492,778
固定負債		
長期借入金	18,783	1,100,000
退職給付に係る負債	162,253	179,640
その他	511,272	508,547
固定負債合計	692,309	1,788,188
負債合計	12,064,407	14,280,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,835,131	1,851,426
利益剰余金	4,655,628	5,134,955
自己株式	△569,458	△461,522
株主資本合計	7,362,741	7,966,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124,158	168,521
その他の包括利益累計額合計	124,158	168,521
少数株主持分	289,600	341,499
純資産合計	7,776,499	8,476,320
負債純資産合計	19,840,907	22,757,287

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	21,159,916	22,056,119
売上原価	18,039,937	18,589,327
売上総利益	3,119,978	3,466,791
販売費及び一般管理費	2,519,384	2,678,345
営業利益	600,594	788,446
営業外収益		
受取利息	9,138	9,705
受取配当金	12,155	13,348
仕入割引	24,048	25,386
持分法による投資利益	13,937	-
負ののれん償却額	2,725	-
為替差益	29,420	128,259
貸倒引当金戻入額	-	1,185
雑収入	18,082	16,343
営業外収益合計	109,508	194,229
営業外費用		
支払利息	14,248	14,257
手形売却損	2,319	615
売上割引	2,246	2,425
雑損失	2,960	48
営業外費用合計	21,774	17,347
経常利益	688,328	965,328
特別利益		
固定資産売却益	12,041	486
投資有価証券売却益	39,586	78,840
保険差益	-	1,360
段階取得に係る差益	-	2,498
事業譲渡益	20,000	-
特別利益合計	71,627	83,186
特別損失		
固定資産除却損	3,906	341
固定資産売却損	544	13
特別損失合計	4,450	355
税金等調整前四半期純利益	755,505	1,048,158
法人税等	291,354	405,334
少数株主損益調整前四半期純利益	464,150	642,824
少数株主利益	5,423	36,435
四半期純利益	458,727	606,388

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	464,150	642,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100,486	48,141
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	100,486	48,141
四半期包括利益	564,637	690,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	548,410	649,704
少数株主に係る四半期包括利益	16,226	41,260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,381,287	13,722,594	21,103,881	56,034	21,159,916
セグメント間の内部売上高又は振替高	111,144	87,386	198,530	44,542	243,072
計	7,492,431	13,809,980	21,302,411	100,577	21,402,989
セグメント利益	204,788	606,022	810,810	69,928	880,739

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	810,810
「その他」の区分の利益	69,928
全社費用(注)	△280,145
四半期連結損益計算書の営業利益	600,594

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,833,385	14,174,909	22,008,294	47,825	22,056,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	102,483	72,754	175,238	52,604	227,842
計	7,935,869	14,247,663	22,183,532	100,429	22,283,962
セグメント利益	396,911	631,646	1,028,557	70,543	1,099,101

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,028,557
「その他」の区分の利益	70,543
全社費用(注)	△310,654
四半期連結損益計算書の営業利益	788,446

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。